



けんこう学校

美祢市からのご指導に感謝！

令和6年・7年度のけんこう学校は美祢市病院事業局（美祢市立病院・美祢市立美東病院）の2病院の先生方にご指導いただきました。おかげさまで、組合員の皆さんの健康や疾病に関する理解が深まり、生活習慣改善への意欲がますます高まっていると感じています。読者の方々から寄せられる前向きなコメント、セミナー参加者の増加や体験後の充実した表情から、皆さんにとって有意義な企画であると確信し、継続を決定しました！

今号では、美祢市病院事業管理者の清水先生による2年間のまとめと地域医療を支える皆さんの思いを掲載します。

けんこう学校 振り返り

令和4年4月に、山口県市町村職員共済組合所属の山陽小野田市民病院と共済組合がタッグを組んで、組合員の皆さんの健康増進に役立つ読む授業としての「けんこう学校」が開校されました。

山陽小野田市民病院事業管理者の矢賀 健医師の熱意もあり、当初1年で修了する予定が、次年度以降も新たな入校生を募集しつつ「けんこう学校」は継続することになり、その2年後の令和6年4月からは美祢市の市立2病院（美祢市立病院および美祢市立美東病院）が授業を引き継ぎ、開校から早や4年が経とうとしています。

この2年間は、それまで山陽小野田市民病院の講師の先生方が力を入れてこられた生活習慣病に焦点を当てた授業形態を引き継ぎ、最初（第13時限目）の授業で、血管病変の視点からヒトが生きていく上での司令塔としての「脳」について美祢市立病院の松永登喜雄院長が、また、最後（第23時限目）の授業では、全身の代謝機能を維持するための総本山ともいべき「肝臓」について美祢市立美東病院の竹中一行院長が、それぞれの臓器に関連した病態を詳しく解説されました。それとともに、大学の医学部での講義で最初に扱う「ヒトの生きている仕組み」など、脳や肝臓に限らず、個々の病気の本質を深く理解するのに欠かせない「基礎医学」の知識も可能な限り分かり易く解説させていただきました。読む授業を熟読された方は、基礎医学の知識があらゆる病態を理解する上で、まさに「基礎」になることを実感されたことでしょう。

さて、開校5年目となる令和8年度からは光市病院事業管理者の桑田憲幸医師に「けんこう学校」の授業を引き継ぐ予定です。桑田先生は整形外科がご専門です。高齢化社会を迎える中で、今後、1年を通して主に整形外科領域の疾病を学んでいただくことになります。ヒトも「動物」であるがゆえに、整形外科の知識は間違いなく人生を豊かにする一助になることでしょう。

ヒトの老化は避けられませんが、昨今の医学は飛躍的に進歩しており、機能の低下した体内諸臓器に対する無理のない適切な治療法が次々と生み出され、我々は健康寿命を十分に延ばすことが叶う時代を生きています。この医学の進歩を享受するための近道は「特定健診」、「職場での生活習慣病健診」および「がん検診」を受けることに尽きます。そして、信頼できる「かかりつけ医（可能であれば複数のかかりつけ医）」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」を持ち、身体のメンテナンスを習慣化し、「けんこう学校」も上手に活用することで、健康寿命の延伸に役立てていただければ幸いです。

なお、余談ですが、すべての高齢者を対象に医療・介護・福祉はもとより「よろず相談」を無料で受け付ける施設として、全国の各市町村には「地域包括支援センター」が設置されています。「医療・介護・福祉のネットワークづくり」は高齢化社会における「街づくり」そのものであり、その窓口業務の一翼を担っている「地域包括支援センター」も併せて積極的に活用し、住み慣れた地域で人生を生き切りましょう！！

美祢市病院事業管理者
清水 良一 先生

この2年間、けんこう学校の授業を陰で支えていただいた美祢市病院事業局
ならびに美祢市立2病院の幹部の方々に、美祢市の将来を見据えて、
まちづくりに貢献すべく、現在の想いを語っていただきました

美祢市病院事業局 管理部長 古屋壮之

（へき地における地域医療の堅持へ）

本市は高齢化の進展が著しく、人口減少に歯止めが効かない状況にありますが、それぞれの特性を持つ美祢市立病院と美祢市立美東病院が一体となった運営を行うことで、救急医療から専門医療さらには在宅医療まで、へき地における地域医療体制を支えることを目指しています。

この先、へき地における医療提供体制の維持は困難な状況に直面することが予想されますが、市立2病院は最適化を図りながら、清水管理者、両病院長をはじめとするスタッフ一丸となり本市の地域包括ケアの基幹医療を堅持できるよう努めていきます。

美祢市立病院



美祢市立病院 院長 松永登喜雄

（まちづくりの中核をなすコミュニティホスピタル）

私たちが目指す地域医療の中心に、コミュニティホスピタルとしての役割を持つ美祢市立病院を存在させたいと思っています。コミュニティホスピタルはこれからの美祢市の変化に柔軟に対応できるものでなくてはなりません。地域のニーズに応えるだけでなく、地域の皆様とともにニーズを創っていくことが重要だと思います。オール美祢の総合（診療・介護・行政）力が試されるものと覚悟しています。

美祿市立病院 副院長 山本健志

(地元で対応できる疾病・外傷は地元で治療)

美祿市立病院で整形外科診療に従事しております。当院は山間地域にあり高齢者の受診率が極めて高く、今後ますます治療を要する方は増加すると予想されます。しかしその一方、高齢者の多くは移動手段が乏しいため遠方の医療機関を受診するのが困難で十分な医療サービスが受けられない、いわゆる医療難民に陥る危険性があります。我々は「地元で対応できる疾病・外傷は地元で治療する」ことを理念とし、小さな病院ですが地域医療に寄与したいと考えております。

美祿市立病院 看護部長 山本浩子

(深刻な人員不足、夜勤職員の減少の中にあっても・・・)

私たち看護部は「市民に信頼され安全で安心な思いやりのある看護を提供する」を理念に掲げ、日々看護に邁進しています。超高齢少子化問題、先が予測出来ないVUCAの時代において、看護部は深刻な人員不足、夜勤職員の減少などさまざまな課題に直面しています。しかし、地域の中核病院としての使命を果たすべく、スタッフは前向きに業務改善に取り組んでいます。私は看護・介護職員がやりがいを持ち、働き続けられる心理的安全性の高い職場作り、責任を持ち自らで判断、行動ができる自律性を身につけた人材の育成に努め、変化に柔軟に対応できる看護部を作っていきたいと思います。

美祿市立病院 副看護部長 認定看護管理者 野村恵美子

(看護師を惹きつけるマグネットホスピタル)

当院の看護部は、生命や尊厳、個別性、自由を最大限に尊重しながら、安心と安全、公益性が守れる持続可能な医療・看護を提供するために、新たな創造と挑戦を続けています。この激動の時代にも「自分らしく幸せに生きたい」という全てのの人に共通する普遍的な価値を実現するために、風通しの良い職場作りにも取り組んでいます。これからも、働く職員が笑顔で「またあした!」と言えるマグネットホスピタルになるよう努めて参ります。

美祿市立病院 事務長 別府泰孝

(市民に信頼され、思いやりのある医療を提供)

美祿市立病院は、平成2年4月の開設以来、地域やボランティアの皆様をはじめ、関係機関のご理解とご支援により、今日を迎えております。近年、病院を取り巻く環境は、医療従事者不足や長引く物価・原油価格の高騰など厳しさを増してきておりますが、こうした皆様の温かいお気持ちに感謝しつつ、関係機関との連携をより深めていき、地域住民の医療・福祉・保健に寄与するという自治体病院の使命を果たすべく、「市民に信頼され、思いやりのある医療を提供します。」の基本理念のもと取り組んで参ります。



美祿市立美東病院

美祿市立美東病院 院長 竹中一行

(地域包括ケアのネットワークの中で、居宅生活者に寄り添う病院)

我々の美東病院は、中山間地域にあり、診療できる診療科も限られており、すべての傷病に対応することはできませんが、当院で治療困難な場合は当院を足掛かりに専門的な医療機関を紹介し、急性期治療や手術等の後にまた地域に戻って治療をすることが出来る病院、この地域を愛する住民がこの地域で生涯暮らすために住民に寄り添った医療ができる病院であるよう職員一丸となって精一杯頑張っています。

美祿市立美東病院 副院長 野口哲史

(美東病院の救急医療)

当院では救急患者は原則断ることなく受け入れています。概要は感染症(呼吸器、泌尿器)が多く、次いで心疾患、整形外科・外科疾患、消化器疾患の順になります。感染症は市中肺炎や医療介護関連性肺炎、尿路感染症が主たる疾患で、循環器系では心不全が多く認められます。外科系では転倒による骨折や縫合を要する外傷、蜂やムカデなどの刺傷を主に受け入れています。消化器は多岐に渡ります。

美祿市立美東病院 看護部長 井上孝子

(患者さんに寄り添い、人生を支える看護を提供)

当院の看護部では、地域の皆様の暮らしに深く寄り添い、患者さん一人ひとりの人生を共に支える看護を提供するとの気概をもって日々取り組んでいます。入院時から患者・家族の思いを聴き、医師、リハビリ、栄養士、社会福祉士等の他職種と連携を取り、患者さんのケアを行っています。また、自立した看護師育成を目指し、認知症看護、褥瘡予防・ケア、摂食嚥下障害のケアなどにも力を入れています。医療の現場は厳しいですが今後も尽力してまいります。

美祿市立美東病院 副看護部長兼外来師長 松本展代

(看護職員が成長し自己実現できる機会を整備)

少子高齢化が進む中、看護人材・夜勤人材の確保が課題となっております。私たちの病院では看護職員が安心して、長く働き続けられる職場環境の整備に取り組んでいます。具体的には個々のライフスタイルやライフステージに応じた勤務形態や、院内外の教育研修を提供し看護職員が成長し自己実現できる機会を大切にしています。まだまだ課題はたくさんありますが、地域の皆様に信頼される看護を提供できるように努めてまいります。

美祿市立美東病院 事務長 池部稔雄

(市立2病院の連携強化で持続可能な地域医療提供体制を確保)

美祿市内で一般病床・療養病床を有している病院は、当院と美祿市立病院のみであり、今後もこの地域で地域密着・ケアミックス型の機能を維持し担っていくことを重要な役割と捉えています。限られた医療資源の中で持続可能な地域医療提供体制を確保し電子カルテの統合などによる市立2病院の連携強化を図り、高齢化の進展及び地域の多様な医療需要に柔軟かつ的確に対応できるよう効果的な効率化・適正化をさらに推進してまいります。